



あなたと共にふる里づくり！

佐世保市議会議員 松尾としや

市政へのご意見・ご要望は何でもお気軽にご相談下さい。
 自宅：佐世保市吉井町直谷 153-1 TEL/FAX：64-3739

長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員

文教厚生委員会 委員

特定複合観光施設(IR)推進特別委員会 委員

Faxにてご用件をお伝え頂くか
 お急ぎの場合は携帯電話へ
 ご連絡ください。
 携帯 090-8837-0595

皆様方には、日頃よりご支援・ご指導を賜り誠に有難うございます。

年が明けて早いものでひと月が過ぎましたが、皆様におかれましてはどのような年をお迎えになられたでしょうか？

一昨年末、中国武漢で発生したとされる新型コロナウイルスによる感染症は、昨年一月に国内で初めて確認され、この一年の間にその感染力は猛威を振るい、今や国内の全ての都道府県に及んでおります。私たちの住む佐世保市においても予断を許さない状況であり、職場や家庭においても密集・密接・密閉に注意を払いつつ、こまめな手指の消毒などこれまでに経験したことのない新たな生活様式での生活が余儀なくされています。

そんな中、今年は「森きらら」の開園60周年（以前の名称は佐世保市亜熱帯動植物園）であったり、俵ヶ浦半島（県立コロニー跡地）に建設中の「九十九島観光公園」が暫定的ではあるものの供用開始が予定されていたりとメモリアルな年でもあります。

今後、市としてはコロナ対策をはじめ、特定複合観光施設（IR）誘致、東彼杵道路の早期実現など、課題は山積しています。皆様方からのご指導を仰ぎ、活力ある街づくり・市政発展を目指し、それぞれの課題にしっかりと取り組んで参ります。

昨年より予定しておりました市政報告会は、現在の新型コロナウイルスの状況により今だ開催出来ておりません。また、朝の街頭での挨拶も再開出来ずしております。新型コロナウイルス感染症の早期の収束を願ってなりません。

まだまだ新型コロナウイルスの猛威が収まらない状況です。皆様くれぐれもご注意いただきご自愛ください。最後に皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げご挨拶と致します。



今年、供用開始を予定されている「九十九島観光公園」(県立コロニー跡地)



今年60周年を迎える「森きらら」(石岳動植物園)



定例議会での私の個人質問

昨年は3月と6月の定例議会で、個人質問に立ちました。
6月議会において質問した内容を報告いたします。

質問→ **Q** 答弁→ **A**

未成年者の性 現状と課題について

Q 新型コロナウイルス感染拡大に伴い学校休業措置が行われたが、そんな中4月以降望まない妊娠について、中高生からの相談件数が過去最多となったと報じている。かねてより日本の性教育は他の先進国に比べて遅れていると指摘されており、この遅れが望まない妊娠へと向かう要因の一つ考えられるが、本市における現状は？

A 平成13年に市民アンケートや、県の関連統計等から、中高生の性に関する問題意識が低いことに加え、医療機関の実績報告により10代の人工妊娠中絶率が、全国比2倍以上であることが明らかとなった。このような深刻な状況を受け、性教育推進委員会を中心に幅広い啓発広報等を通じ、事態の改善に向けた活動に継続して取り組んで来た結果、平成13年当時の半減以下のレベルまで低下傾向をたどった後、ほぼ横ばいで推移している。

Q 半減以下のレベルまで減少したことは長期の取組の成果であると評価できる。引き続き、啓発・広報など各取組に努めていただきたい。
ユネスコによると「性教育は学校で推進されることが望ましい」とされているが、当市の市立学校においてはどのような形で性教育が行われているのか、その取組と現状は？

A 学習指導要領に示されました内容を全ての児童生徒に確実に指導し、性情報の氾濫や、SNS等の普及により誘発される犯罪等の課題を踏えつつ指導を行うなど、丁寧な対応が求められる。
そのため、全教職員が性教育の在り方についての共通認識を持ち、児童生徒が性に関する正しい知識を身につけ適切な意思決定や行動選択ができるよう、性教育に取り組むことが重要であると考えている。
小学校第4学年以降、児童生徒の発達の段階を踏まえて体育科、保健体育科はもとより、家庭科道徳科等、相互に関連づけながら学校の教育活動全体を通じて行っている。
また、医療関係者が各学校で出前授業を行うなど、より専門的な指導を行なっている。
1年に一回教職員やPTAを対象に性教育研修会を開催し、大人も性教育について学ぶ機会を設けている。

安全な通学路の確保について

Q 小中学校の児童生徒が通学時に利用する通学路の安全確保は、重要でありかつ不可欠なものとする。通学路において、その安全性についての調査や点検はなされているのか？
また、どのような形で安全の確保に取り組まれているのか？

A 平成24年度に、全国で通学路の緊急合同点検が実施され、本市においても教育委員会、各小学校ほか関係機関と合同で通学路緊急合同点検を実施し、それ以降も関係機関が連携して点検箇所における対策の実施といった取組を行っている。

その後も継続して合同点検を実施し、平成27年7月に教育委員会及び土木部において、佐世保市通学路交通安全プログラムを策定し、市内全小学校を1グループ10校程度の五つのグループに分けて、年次計

画を立てて合同点検を実施している。

合同点検の方法は対象となる地区の学校、教育委員会、保護者、自治会、道路管理者、警察等によって組織される点検者が通学路を巡回し、路側帯のカラー舗装、白線の新設など、子どもたちの安全確保に向けて具体的な対応策を協議している。

Q 5グループということは5年に一度合同点検の機会がやってくる事になるが、5年に一度というのは少ないように感じる。宅地開発や交通量の変化が起こるなど、様々な要因によって通学路の検証が必要になることがあると考えられるが、この点検のほかに通学路における危険箇所の把握や、通学路の変更などを考える機会はないのか？

A 通学路交通安全プログラムについて今後も継続し、それとは別に毎年6月から7月に市内四つの警察署管内及び、宇久地区で開催されている「子どもを事故から守る地域別協議会」の中で、通学路での危険箇所の把握や通学路の変更などについても検討していきたいと考えている。また、通学路交通安全プログラムでの合同点検以外において、緊急を要する場合にはその都度各学校からの要望に基づき、地域や教育委員会と土木部等の関係機関と連携を取りながら対応している。

Q 吉井北小学校の通学路として指定されている県道において、長年にわたり横断歩道が必要であるとされる場所があり地域から複数の要望が出されているものの、県や警察による調査で設置の基準を満たせていないとのことで未設置であり、その道路を横断せざるを得ない子どもたちにとっては、非常に危険な状態である。

このような判断をなされた場所に対し、どのような対策・対応が出来るのか。

A 合同点検や要望により判明した危険箇所については、対策が必要と判断された箇所ごとに各道路管理者や警察が具体的な対策を検討し、ハード・ソフトの両面から対応を行っている。

道路管理者が行う対策としては、歩道整備、防護柵の設置、路肩のカラー舗装など。また、警察が行う対策としましては、信号機、横断歩道、停止線の設置など。

お尋ねの横断歩道の設置困難と判断された箇所などへの対応については、現地の状況により道路管理者側で事故防止のための横断防止柵を設置する場合もある。新たに歩道の整備が計画されるなど、周辺環境の変化により横断歩道の設置を改めて検討できる場合もあることから、その箇所について時期を捉え、関係機関へ強く働きかけていきたいと考えている。

文教・厚生委員会での報告

吉井中学校に隣接する武道館において、以前から要望が出されておりました雨漏りや床の痛みに対しての改修について、屋根の全面改修を行うという報告がありました。地域の皆様が長年にわたり複数回の要望をなされた結果が出た形となりました。

上記の私の質問で上げたおりました、吉井北小学校区の通学路に必要とされていた横断歩道の設置について、県・警察・市教育委員会・市土木部と一緒に現地立会を行い、県道拡幅工事に伴って設置が出来るよう道路設計を行って行くとのことでした。

松尾としや

活動報告

発行： 松尾 俊哉
 【連絡先】
 佐世保市吉井町直谷153-1
 TEL/FAX 0956-64-3739

発行人プロフィール
 旧吉井町立北小学校卒業
 同 吉井中学校卒業
 西海学園高等学校卒業
 昭和音楽大学音楽学部卒業
 西海学園同窓会副幹事長

12月定例議会より

令和2年12月議会では一般会計補正予算など、48の議案を可決しました。

一般会計補正予算については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市内経済や市民生活への対応として、「経営及び雇用の維持・継続への支援」及び「感染拡大防止と生活の安定」を基本方針として、国・県の施策と併せて切れ目のない対策を段階に応じて適切に展開することとしています。

今回の補正予算は、8,669万円が減額計上され、予算総額は1,523億5,287万円(前年度同期比18.9%増)となりました。

《 補正予算の主なもの 》

- 災害復旧関連費 **計5億7,688万円**
9月の台風9号、10号による災害に係るもので、農業・林業・水産・土木及び小中学校施設などの復旧費
- 情報化推進事業費 **6,500万円**
本市の各政策にICT活用のビジョン及び戦略の策定を行なうことにより、デジタル化の推進をおこなうもの
- 人件費補正 **2億125万円減額**
給与条例の一部改正に伴う一般職職員の給与改定などに係るもの
- 小学校施設整備事業費 **8億5,585万円減額**
日野小学校校舎改築・長寿命化事業の延期に伴い、本体工事や引っ越しに係る経費を減額するもの

《 条例改正の主なもの 》

- 佐世保市コミュニティセンター条例制定の件
地域コミュニティの活性化や社会教育活動を推進すると同時に、住民主体の自治の実現に向けた取り組みを進めるため、現在28カ所ある公立公民館を廃止し、新たに地域拠点としてコミュニティセンターを市の直営で設置するもの

佐世保市新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業一覧表 総額311億2,954万円

- 第1段階 / 緊急支援段階事業 **4億6,534万円**
国の経済対策開始までの間、緊急対応として速度最優先で実施した本市単独施策
- 第2段階 / 安定化支援段階事業 **267億6,144万円**
国の経済対策(補正予算)を積極的に活用する大規模な支援施策
- 第3段階 / 計画的支援段階事業 **35億6,304万円**
「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を積極的に活用する本市独自施策
- 「Withコロナ」社会に対応した地域経済の回復と活性化 **1億7,581万円**
- 令和2年12月14日付け市長専決による **1億6,391万円**
ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業

☆ 令和2年12月までの事業内容です。